



CLUB OFFICE
京都YMCA 三条本館
京都市中京区三条通柳馬場角
TEL 075-231-4388

THE Y'S MEN'S CLUB OF

Kyoto Prince

THE SERVICE CLUB OF THE YMCA

AFFILIATED WITH THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF Y'S MENS CLUBS

"TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIES EVERY RIGHT"

2014

3

Bulletin

2014.3.1発行

第28巻第9号通巻339号

主 題

聖句

国 際 会 長 Go Ye Into All The World 全ての世界に出て行こう
ア ジ ア 会 長 Start Future Now 未来を始めよう、今すぐに
西日本区理事 Attend club meetings with a clear motive to make the most of them
志をもって例会に参加し、学びの機会を持ちましょう
京 都 部 部 長 Let us join hands! さあ！ 手を取り合ってワイズの輪を広げましょう
メ ネット 主 任 Let's bring together menettes' power and share the excitement!
メネットパワーを集結し、感動をわかちあいましょう！

わたしはぶどうの木、あなたがたはその枝である。人がわたしにつながっており、わたしもその人につながっていれば、その人は豊かに実を結ぶ。

ヨハネによる福音書 15章5節



『荷を下ろす場』

日本YMCA同盟スタッフ 山根 一毅

先日、東日本大震災被災地で活動する団体のスタッフを対象にした「支援者のケア研修プログラム」を東山荘で実施しました。東日本大震災から3年。震災という出来事の中で

命を守られた人々には今、災害後のストレスが容赦なく襲いかかっています。一方、被災地を支えるために働く支援者も様々なストレスの下におかれ、現在では被災地が抱える多様化・長期化した課題がじわじわと心身の疲弊をもたらしています。更には、解決が難しい社会的・政治的な課題、支援団体の経済的・組織的な課題などが支援の障害となり、無力感や自責感、睡眠障害など、いわゆるうつ病を抱える支援者も多くいます。今回のプログラムの参加者にもそのような症状を抱える方々が見受けられました。

プログラムは、臨床心理学の専門家を招き、米国での「惨事ストレスへの取り組み」をベースに進めました。米国では消防士、警察官、救急医療といった「惨事」に遭遇する現場に従事する人々を対象に、日常的に心のケアがなされています。その初歩的な取り組みの一つに「ディフュージング」という取り組みがあります。「不安を取り除く」という意味の言葉ですが、たとえば消防署では、現場から帰ってきた消防士たちが輪になって自分の辛い経験やその気持ちを表現する短い時間を設けます。つまり心にある重荷を活動後すぐに下ろす「荷下ろし」の作業を行うのだそうです。

今回もこの「荷下ろし」に似た取り組みを行いました。参加者から「支援活動では絶対に弱音を吐いてはいけないと思っていたけれど、自分にもストレスがあると素直に言えた」「自分を受け止めてもらえる場づくりに感謝したい」という感想を聞くことができました。現場に戻る彼らには再び多くの困難が待ち受けていますが、まずはその人のいのちが輝きつづけることがなければ困難に立ち向かえません。このような研修で、自分が弱っていることを受け入れ、自分を大切にすること学び、そして自分が大切にされているという感覚を持って現場に戻る彼らに、被災地支援の新たな希望を託したいと考えています。

ワイズはこの「荷下ろし」の場に似ていると思います。災害のような特別な状況でなくても、人は様々な重荷を背負いながら生きています。しかし所属する会社や、時には家族の中でも、弱音を吐くことのできない、自分の経験や気持ちを素直に表現することのできないことが多くあります。それぞれの立場を超えたところでつながるワイズは、自分のそのような経験や気持ちをやさしく受け止めてくれる手のひらのような存在であると思います。実は以前、今回この原稿依頼をくださった岡西さんが私の気持ちを受け止めてくださったことがあります。今でもその時のことを覚えていて、私の生き方の支えの一つになっています。深刻に相談をしたのでもなく、何気なく伝えた自分の気持ちでしたが、それを人生の先輩に大切に受け止めてもらえたことで、荷を下ろして未来に前進することができました。更にいえば、ワイズでのこのような人と人との関係の間に神様が一緒にいて下さり、一緒にわたしたちの重荷を受け止めてくださっている、そう思っています。感謝をしたいと思います。

会長主題

バランスよく協調

クラブに対するメンバー個々の100%の関わりを求めて

会 長 三村 良行
副会長 小野 敏明
飯尾 豊
書 記 森 伸二郎
会 計 蔭田 茂夫
外会長 三村 和美

運営月間

EF・JWF

3月 例会案内

5日(水) 通常例会

弁護士の山口義治氏をお迎えして「あなたは人間学を信じますか」というお話をさせていただきます。お友達を誘って例会へ。

19日(水) 訪問例会

ウエルクラブの例会に参加します。新会員を交えたメンバースピーチが、楽しい例会です。例会場は、京都平安ホテル、お間違いないように。

例会出席

| | |
|--------|-------|
| 2月第一例会 | 13名 |
| 2月第二例会 | 11名 |
| 在籍者数 | 16名 |
| 広義会員数 | 2名 |
| 出席率 | 92.9% |

BFポイント

| | |
|-----|-----|
| 切 手 | 0pt |
| 現 金 | 0円 |
| 果 計 | 0円 |

ファンド

| | |
|---------|---------|
| ジップパーカー | 9,600円 |
| 旦那 | 11,000円 |

| | |
|-----|----------|
| 果 計 | 305,940円 |
|-----|----------|

ニコニコ

| | |
|--------|---------|
| 2月第一例会 | 0円 |
| 2月第二例会 | 5,000円 |
| 果 計 | 30,350円 |

2月第一例会

2014. 2. 5
斎藤 謙治

2月第一例会はウェルクラブとの合同例会で、2月5日グランドプリンスホテル京都で開催されました。三村会長の開会点鐘で、いつも通り和やかな雰囲気の中開会され、本日のゲストスピーカーが紹介されました。

国内唯一の女性銘木師、株式会社千本銘木商会常務の中川典子氏です。屋号『酢屋』材木商は幕末には、かの坂本竜馬のスポンサーであり歴史上重要な役割を果たしておられた家系の十一代目ですので、お話を伺う前から興味深々でした。

日本の気候風土においては、建物や家具・建具等は木造りが最適だと従来から考えておりました。しかし大量生産・大量消費の経済原則が幅を利かす近年、手間が掛かり低価格での供給が難しい木製品が、一般家庭ではなかなか使用されがたい状況にありました。それでも最近になって少々高価でも良いものを、修理しながらも長期間使用することが、地球環境の保全という観点からも必要だ、と考え実践する人が増えてきているのは、大変喜ばしいことだと思います。

中川氏の業界のマニアックなお話は非常に面白く、時間が瞬く間に過ぎました。特に、家訓として“木の命を頂いているのだから、伐採から製材・加工まで全ての作業工程で、感謝の気持ちを忘れない。爪楊枝一本も無駄にはせず、商品に命を吹き込む仕事である”と日々精進される姿勢には、感銘を受けました。

我々は材木だけに限らず、日々の糧という食料としても多くの命を頂いて生かされているのです。感謝の気持ちを忘れず、物を粗末に扱わないよう、努めて生活すべきだと思います。



2月第二例会

2014.2/19
山口 政貴

今回の例会の進行役は、おなじみ廣井ドライバー委員長！！ではなく、なんと蒔田ワイズです。初っ端から、いつもの例会とは違う感じがプンプンします。そんな予感の中で、例会場に最後に入られた田中ワイズが1分スピーチの餌食に。でも、さすがの田中ワイズ。まるで台本でもあったかの様な完璧スピーチを披露されました。続きましては幕のお話、齊藤ワイズ。内装の仕事をしている私には興味深いものでした。

そして本日の目玉企画、川柳のお時間です。テーマは「冬」なんととても旬なお題ですね。当日も大雪での交通機関麻痺話題で持ち切りでした。皆さん、冬のイメージを膨らませ、色々な角度からの冬を表現されていました。その中でも、優秀賞に輝いたのは「愛犬は 愚痴を聞かされ 首かしげ」齊藤ワイズの作品です。

そう、先程幕の話をして頂いた齊藤ワイズ、今日は大活躍です。あと、私が覚えている限りで紹介したいと思います。

「愛に始まり 憎悪に続き 感謝で終わる」岡西ワイズ

「雪景色 所変われば ただの雪」西村ワイズ

「凍りつく 妻の呼ぶ声 ああ寂しい」廣井ワイズ

「寒くても ワイズメンバー 燃え上がれ」山口ワイズ

あろうことか、この私の「燃え上がれ川柳」が佳作に選ばれました。

川柳の時間も終わり、こちらにも旬真っ只中「オリンピッククイズ〆ンチ編」。皆さんのオリンピックの知識の豊富さに圧倒されっぱなしでした。全然わからない……。羽生くんの漢字なんて……。わからない。メダルの数……。やっぱり世間話の一つとして、出来る大人は頭に入れとかなんといけないですね。オリンピッククイズ王と川柳の優秀賞と佳作の人には、賞品としてホテルのパンを頂きました。山口ワイズこの感動を1000円出してでも伝えたく、ニコニコタイムでお話しました。

今回はゲストスピーチを迎える事なく、一味もふた味も違った例会で、忙しい中、余興を考えて楽しませて下さった廣井ワイズに感謝致します。2月の月末になって、ようやく寒さも緩んできたように思います。「暖かくても ワイズメンバー 燃え上がれ」(山田くん ホテルのパン山口ワイズに持ってきてあげて)



第2回 国際協力フェスティバル

2014. 2. 2
飯尾 豊

昨年好評でしたYMCAで国際協力フェスティバルが2月2日に開催されました。今年はネパールYMCAが運営する孤児院や新たな学校建設の支援を目的として開催されました。イベント内容は世界の料理(屋台)、バザー、ステージイベントがあり、我がクラブは昨年同様、水餃子を出店しました。

バザーは2Fで行われワイズメンズクラブ及びYMCA関係者からの寄付で安い商品があふれんばかりに並んでいますが、私は料理担当でしたのでなかなか見にいけず、購入できませんでした。非常に残念！

イベントは1Fのロビーで行われ、われらの出店しました店の横が舞台で、全て見ることが出来、料理する傍らで楽しく拝見できました。迫力があつたのは合気道の100種の演舞を連続で行われたのはおどきました。そして我がクラブも25周年、3クラブ合同例会に出演して頂いている華puspaさんが華麗なタップダンスの披露があり、さすが姉妹の息が合ったダンスに会場はウットリ！、この間、水餃子の売れ行きも落ちました。バザー、イベントの話が長くなりましたが、我がクラブの水餃子もおかげをもちまして昨年の倍以上の約200食を完売し、売上は全て国際協力募金に寄付をさせていただきました。

今回水餃子を手配、購入担当の岡西ワイズ、料理販売担当の田中ワイズに感謝！感謝！です。

追記。となりの店の料理長が「この水餃子は本当に美味しい」とおしゃって材料を分けてほしいと言われて販売しました。



東稜クラブ10周年記念例会

2014. 2. 16
岡西 博司

2月16日(日)メルパルク京都において、開催されました。高瀬理事やDBCの名古屋グランパスのメンバーが来ておられましたが、参加者は、在京のワイズメンがほとんどでした。(総勢130名ほど)

会は二部構成で、一部では、記念アクトの紹介があり、改めて東稜クラブのメンバーが地域に根ざしたクラブ活動をしてこられたことを感じさせられました。又YMCAへの活動もいつも裏方に回って頑張ってきてくれたことを思い起こしました。例えて言うならば、チャリティランでも、駐車係りをして頂き、朝6時過ぎから最後まで会場に居て下さっています。感謝です。

二部では、多くのワイズメン達がお酒を片手にあちこちで、交流を深めておられました。こういう場を借りて、交流を深める事はやはり大事な事ではないかと感じる事が出来ました。僕は、久しぶりにお会い出来た名古屋グランパスのメンバーと楽しくお話を出来たことを嬉しく思いました。ただ残念ながら、我がクラブからの参加者は僕ただ一人と言う事で、少々肩身の狭い思いと、東稜のメンバーに対して申し訳ない気がしました。

これからいろんな事業がありますが、是非一人でも多くのメンバーが参加して頂ける事を希望します。



京都部チャリティーボーリング

2014. 2. 23
西村 博

京都部ワイズメンズクラブCSチャリティーボーリング大会。昨年見事優勝を果たしたプリンスクラブにとっては、連覇が懸った大事なCSチャリティーボーリングである。プリンスメンバー、(コメット・メネット・メン)総勢14名の大参加だ。これは二連覇への意気込みの現われなのか？などと感じつつゲームはスタートした。

小野副会長は昨年に引き続きファミリーでの参加、山口ワイズもファミリーで参加してくれた。三村会長はじめ他のメンバー共々和気藹々、楽しい時間を共有しつつボーリングを満喫した。

山口ワイズ、パパのいいところをみせて1ゲーム目、スコアはなんと素晴らしい170点UP！！さらに昨年優勝の立役者岡西ワイズは今年も2ゲーム共ナイスゲーム！おまけに私も今回は、それなりにスコアを伸ばし結果発表までの時間がなんだか待ち遠しく長く感じられた。

いよいよ優勝チームの発表。なんと！というか期待通り！というか、我がプリンスクラブの連覇達成がアナウンスされた。「ウォー！やった！」と参加者一同大喜び。楽しく実りある一日となった。

来年度は、プリンスクラブにホストの順番が回ってくるとのことだ。メンバー全員それとなく来年度の段取りを確認していたようだ。ホストクラブで何かと大変だが、三連覇の夢を見つつ来年を待とうではないか！！





京都パレスクラブ
森田 美都子

そこはかとなく聞こえる三寒四温の響きが遠からずやの春を感じる今日の頃。

この度は「ワイズ談議」への寄稿依頼に光栄さと感謝にとまどいつつ筆を執るもさて何を・・・「何書いてもいいよー」の寛大な岡西ワイズスタイルに甘えて迷わず選んだお題は、“どうしてワイズが大好きなままで読けられているの？”そう、たまらなく好きなんです！人、文化、地域、国を超えた最高の形で経験できるY's 仲間の交流が。ワイズメンにならなければ零細企業のいちオーナーで小さな世界からどこに卓越した外界を見るチャンスがあるかも分からず通過し終わったであろう日々の繰り返し。

ワイズメンズクラブ京都パレスクラブに入会して14年。最初はすべてが物珍しく興味深く只々おもしろおかしくワイズ活動も良いところ取りを満喫するだけの怠惰なメンバー。しかし10年目にしてクラブ初の女性会長の名に載せられ？踊らされ？周年式典期の会長を享けたことから意識に大変革発生。自身の姿勢が個人単位のY's 観から全体観を持つワイズライフへと徐々に移行する気配になるにつれ如何に自分がスロースターターであったかを自ずと知る様々な事柄に遭遇。今なお自己研さんに邁進する日々を与えられ、それこそが自分の生活基軸になっていると改めて感じるワイズの楽しさなのです。

私の会長期に、より密接にアウトイング交流を図る活動として同好会（サークル）を提唱。「ふろ（サウナ）・にく（焼肉を食す）同好会」「ランチ同好会（ランチタイムに近隣集合で一時間の情報交流）」「麻雀同好会（善のリベンジ精神を競う？）」「グルメ同好会（未知の食事場、味を開拓）」「サイクリング同好会（ストップざ・メタボ）」「英会話サークル」etc、英会話サークルは私宅にネイティブスピーカーを招き月二回のサイクルでY's トピックスに準じた会話を約二年半にわたり続行中。一歩進んで一歩後退の微妙なレッスン成果ながらコーヒブレイクを楽しみながら仲間ができるという自己満足的アカデミック交流。これらの同好会は、例会だけでは見えなかった異なった各々独自のキャラ全開が一層の親密感を増し仲間意識が深まる一つの醍醐味あるスキル役を担っているようです。

そしてこの交流というシーンが国際交流として最高の場面となる2015年京都アジア大会がいよいよ日本京都で開催される時が来年に迫ってきました。次の時代に何が大切かを知り何か社会で若者自身行動を起こさせるための火付け役としてYMCAが世界規模として“チェンジ エイジェント”を提唱しています。2015年京都アジア大会もやはり次世代への活性化を存続すべくY's ビジョンにこの動きを投入し未来へつなぐ大会にしたいと願います。京都部のパレスクラブが窓口となるホストクラブではありますが体制はa11京都です。

東西日本区、a11京都メンバー全員の一丸となる意識の結束無くしては進み得ません。

常に対外的に視野を持ち国際協会への貢献度大であるプリンスクラブさんにも是非アドバイス、ご協力を賜りたいとこの紙面をお借りしてお願いする次第です。

アジア大会を通してこれからの日々が国内、国外問わず、ワイズ交流大好き人間に益々の拍車をかけてくれる、そんな場面が大きく展開するであろう国際協会ワイズメンズクラブで次代への未来を描き一層のワイズ交流を楽しんでいきたいと大きく夢を馳せている私です。



を続けています。

1月の第一例会は、在京ワイズ合同新年会に合流の形で、独自の例会は行いませんでした。第二例会は、いつもの通り「BF切手切り例会」をグラディスで行いました。サンライズはチャーター以来ずっと切手切り

個人的に、長野クラブの震災復興支援「栄村遊雪例会」に出席しました。日本有数の豪雪地帯(昭和20年2月12日、積雪7m85cmを記録)の雪を楽しんできました。詳しくは今度お会いした時にでも。

5月30日～6月2日に台北ユニオンの30周年記念にかこつけ、サンライズの25周年もついでに祝おうと台湾に出かけます。よろしかったら一緒にしませんか。5割でも可能性があれば早目にお声をおかけください。



今月はお休みです。



京都YMCAは 今年 創立125周年を迎えます。
125周年のさまざまな記念事業が始まります。ご協力・ご参加 よろしく願い申し上げます。

1. 新年度プログラム募集

子供たちのウェルネスプログラムの新年度参加者募集中です。
スイミングスクール・体育活動 電話075-255-4709
グローバルアウトドアクラブ 電話075-231-4388

2. 2013年度卒業生リーダー祝会のお知らせ

今年も多くの少年リーダーが社会に巣立とうとしております。YMCAでの活動に捧げていただいた労力と時間は、明日をつくる子どもたちの大きな糧となったに違いありません。情熱ある働きに感謝するとともに、YMCAでの経験が今後にかき立てられることを祈ってともに祝いたいと思います。

日時 3月9日(日) 午後2時～5時30分 (受付午後1時半開始)
会場 京都YMCA 三条本館マナホール

3. サバエ教育キャンプ場・リトリートセンター夏期利用案内
自然いっぱい心で心がらぐサバエキャンプ場・リトリートセンターでは夏期利用(7・8月)の受付を下記日程で行います。ご利用ください。

30名以上 3月5日(水) 午前10時～

30名未満 3月7日(金) 午前10時～

※リトリートセンター2014年4月～2015年3月まで(7・8月を除く)のご利用は只今受付中です。

4. 会員のためのオリエンテーション講座

2014年度第1回のYMCA会員のためのオリエンテーション講座を開催します。維持会員Aの方はこのオリエンテーションを受けると維持会員Bの申請をすることができます。受講希望の方はYMCA本部まで申し込んでください。

日時 4月14日(月) 午後7時～8時30分

場所 京都YMCA 201号室

5. 創立125周年記念 The Y cup 第1回京都ミニバスケットボール大会実施! ご協力をお願い

公益財団法人京都YMCAでは創立125周年記念とまたYMCAを通して京都に入ってきたバスケットボールが100年を迎える記念として 下記要項で小学生のバスケットボール大会『The Y cup 京都ミニバスケットボール大会』を開催することとなりました。

日程 2014年3月15日(土)・16日(日) 午前9時～午後5時30分
場所 京都市横大路運動公園体育館

6. 創立125周年記念 第11回発達障がい児理解セミナー～発達障がいの子どもの社会とつながるために～

日時 3月8日(土) 午後2時～4時30分(受付午後1時40分～)
場所 京都市中京区青少年活動センター 大会議室(中京区東洞院通六角下ル御射山町262)

内容 学習障がい児の支援を考える

ー学校の役割・地域の活用ー

I LD支援の歴史と現在/小学校における実践/中学校における実践

II 地域資源の活用 京都YMCA中学生居場所プログラムの紹介
参加費 1,500円 ※当日受付にてお支払いください。

7. 春休みスキーお申込み受付中!

リトルキッズスキー(小学1～2年生)/小学生スキー(小学3～6年生) 3月26日(水)～30日(日)

中高生スキー(中学1年～高校3年生) 3月24日(月)～30日(日)
チャレンジスキー(小学4年～高校3年生)※中・上級者向き 3月24日(月)～30日(日) 場所 志賀高原高天ヶ原スキー場

8. 春休みデイキャンプ・小豆島少年少女キャンプお申込み受付中!

デイキャンプ 日帰り連続4日間 4月1日(火)～4日(金)

◎幼児 たんぽぽ 対象 新年中～年長(平成 20年4月2日～平成22年4月1日生)

◎小学生 つくしんぼ 対象 新小学1年～4年生

小豆島少年少女キャンプ

3月26日(水)～3月30日(日) 4泊5日

場所 神戸YMCA余島キャンプ場(香川県小豆郡余島)

対象 小学校3～高校3年生[2013年度]

9. ボランティアセミナーのご案内

がん患者さんとそのご家族へ 第86回苦しみ、悩み、不安を共有しませんか。この会は患者さんとそのご家族が抱えている苦しみや悩みについて、患者さん同士、そのご家族同士が話し合い、がんとうまく付き合うための情報交換の場です。

日時 3月15日(土) 午後7時～9時

場所 京都YMCA(三条柳馬場) 参加費 お一人 300円

※すべてのプログラムに関するお問い合わせ・お申し込みは、電話(075)231-4388 FAX(075)251-0970

E-mail kyoto@ymcajapan.org(ボランティアセミナー・スキー除く)

2月度 役員会報告

報告事項

●西日本区事業への献金は、すべて送金を済ませました。

●西日本区メネット事業へは、メネット会補助金を充当され協力されました。

●ファミリー例会は、ゆずの里水尾で開催。山里の春を楽しみましょう。

●京都部チャリティーボーリング、2年連続優勝。

承認された事項

●ファミリー例会登録料 メン：無料
メネット・コメント・ゲスト：実費
飲み物・交通費：各自負担

3月 スケジュール

5日(水) 第一例会
19:00 グランドプリンスホテル

8日(土)～9日(日)

次期会長・主査研修会
新大阪チサンホテル

9日(日) リーダー卒業祝会

19:30 京都YMCA

18日(火) 三役会(W)

19日(水) ウェル訪問例会

19:00 京都平安ホテル

20日(木) 三役会(P) 会長宅

22日(土)～23日(日) ウェル泊例会

26日(水) 役員会

19:30 京都YMCA

3月 Happy Birthday

9日 西村 博
16日 三村 良行

<編集後記>

二月はいろんな行事がいっぱいありましたね。メンバーの皆様には、何度も原稿依頼をお願いして、心苦しいのですが、何せメンバーが少ないので、・・・後少し、仕事お忙しいとは思いますが、よろしくお願いいたします。